

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市社会教育委員会議小委員会 (第2回)		
事務局 (担当課)		生涯学習課 電話042-769-8287 (直通)		
開催日時		令和7年9月8日(木) 午後4時45分～午後5時50分		
開催場所		相模原市職員会館1階 検診室		
出席者	委員	5人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	4人(生涯学習課長、総務企画班総括主幹、外3人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題 等		1 あいさつ 2 議題 研究調査報告書に関する研究大会当日用フォーマットの決定について 3 その他		

議 事 の 要 旨

1 あいさつ（石川委員長）

2 議題

研究調査報告書に関する研究大会当日用フォーマットの検討について
フォーマット記載内容（案）を基に説明

（石川委員長）

- ・ 秦野副委員長から現状（案）の説明をお願いします。

（秦野副委員長）

- ・ 具体的な構成については、共通のイメージをお持ちいただくため、構成イメージを作成した。全体としては、見開き2ページのイメージでいる。

【イメージ】

目次→今回の研究調査の説明→研究大会研究部会の流れ→定例会や小委員会での協議内容→相模原市の事例→研究大会全体会について→シンポジウムについて→各分科会の事例→各分科会に参加して→むすび

- ・ 各分科会の事例発表から聞き取ってまとめる項目は前回小委員会の意見から8つある。

①事例に対する社会教育委員の関り

②行政との関わり

③設立の経緯と組織・しくみづくり

④継続の工夫

⑤代表者やメンバー初期の人たちと替わった後の変化

⑥相模原市に参考になりそうな点、生かせそうな点

⑦「もっと〇〇〇公民館」との関係が見いだせる点

⑧相模原市で取り入れるには難しそうな点

- ・ ③④⑤については、まとめて1つにすることを検討する。
- ・ 「もっと〇〇〇公民館」は最後の⑧に変更。
- ・ ⑥と⑦の表現の方法について、協議していきたい。

（石川委員長）

- ・ ①②についてはこのままで良いと思う。③④⑤と⑥⑧をどんな形にするのかで、⑦の「もっと〇〇〇公民館」を後ろに下げるのかを話し合うこととする。私としては、大きな枠組みがあり、その中に設立の経緯、組織仕組みづくりを入れるような、小項目立てにしても良いのではないかと思う。
- ・ 全体としては、発表した組織の概要の中で、組織がどのような形で活動して来て、どう継続してきたのかというあたりを知ることが、目的だと考える。

これは相模原市でも課題となっており、新陳代謝が上手くいかななくて同じ人がやっていることや、継続してイベントを続けていくことが難しいなどが課題としてあるので、そこに対してヒントをもらうことが大事だと思う。皆さんの意見を聴いていきたい。

(秦野副委員長)

- ・リハーサルで事例を聞いたが、社会教育委員が活動をしているところだと、団体ではない為、組織の概要として書くのが難しい。事業の発表が多かったため、事業発表主体の概要という形にするのが良いのではないかな。

(石川委員長)

- ・①の「事例に対する社会教育委員の関わり」の前に発表主体について記載するのはどうか。この方が明解だと考える。

(秦野副委員長)

- ・事業実施主体の概要や組織の概要については、発表によって選ぶ。組織であれば設立の経緯、社会教育委員が事例の主体であればどうしてそれをやろうと思ったのかというような、事業実施の経緯みたいにするのはどうか。社会教育委員がやることになった経緯については記載がないので、発表の中で聞き取ってほしい。
- ・二つを並べておいて、発表によってどちらかを使い分けるという形ではどうか。

(石川委員長)

- ・数行の概要を書くだけになってしまう気がする

(秦野副委員長)

- ・概要にしてしまうと、他の部分に記載があるので、そもそもの目的や動機、きっかけ、苦勞などがあれば書いてもらうのを①に持っていく。書き方については、事例に沿って選べる用語を並べておいて、質問する際に参考にする。

(高橋委員)

- ・3つの事例を聞いたが、発表者が社会教育委員であったりNPOだったり様々で、すごく違和感があった。これをまとめるのはすごく大変に感じる。なので、発表の事例に対して、こちらも柔軟に対応していく必要があるのではないかな。

(秦野副委員長)

- ・キーワードを用意しておいて、柔軟に対応するという形式はどうか。

(高橋委員)

- ・書き手としては、その形式が非常に助かる。

(石川委員長)

- ・聞き取れないと書けないので、すごく重大である。

- ・大きな項目があり、そこに含まれる例としてキーワードを用意しておいて、当てはまるものを1つ2つ見つけ出すのであれば、良い気がする。枠組みを決めすぎても、柔軟性が無くなってしまう。

(秦野副委員長)

- ・①については、「事業の実施に関して」にして、複数のキーワードから選べるようにする。
- ・②については、「事例に対する社会教育委員の関わり」にして、③を「行政との関わり」にする。
- ・以上のことについて、発表の中に出てこなかったら質問をして聞くような形でよいか。

—ここまでの整理—

①発表された事例の概要

②事例に対する社会教育委員の関わり

③行政との関わり

に変更。

(石川委員長)

- ・おそらく、なぜこれをやったのかについて話さない人はいないと思う。

(秦野副委員長)

- ・エピソードを紹介して下さったら、それを拾っても良いと思う。
- ・文書には書いてあるが、発表になかった部分で興味をもった仕組み・強調したい部分があれば、書いてほしい。

(石川委員長)

- ・発表の中で話された内容で、強調したいと思った部分は是非入れておいてくださいという注意書きを書いておく。

(秦野副委員長)

- ・最後のまとめの時に統一感があまりなく、読み手が読みづらくなるのではないかな。ある程度フォーマットがある方が良いと思う。
- ・⑥の「相模原市に参考になりそうな点、生かせそうな点」はそのままで良いと思う。
- ・⑧の「相模原市で取り入れるには難しそうな点」についてはどうか。

(高橋委員)

- ・真鶴町では、社会教育委員と市の職員の距離が近いので、ネットワークができており、話が進むのが早いという特徴がある。

(石川委員長)

- ・横とつながって活動していくうえでは、大きくなればなるほど難しい。
- ・行政が大きくなればなるほど、縦割りになりがちになる。
- ・ここまでの話で、事務局に意見を求めたい。

(事務局)

- ・⑥の中に⑧の要素が含まれているような気がする。⑥⑧は事例によって、混ざってくるのではないか。

(石川委員長)

- ・最後に難しそうな点を持ってくるのは、あまり好ましくない。
- ・難しい点もあるけれど、将来的に生かせそうな点を、⑥の中に入れ込むことで、明るく締めくくれるのではないか。

(秦野副委員長)

- ・相模原に参考になりそうな点、工夫をすれば生かせそうな点というような感じではどうか。

(石川委員長)

- ・⑦「もっと〇〇〇公民館」との関係が見いだせる点については、⑥と⑧の中に参考として入れておくのはどうか。

(委員一同)

- ・賛成。

(秦野副委員長)

- ・予算面で、シンポジウムの報告などで何枚か写真を入れることは可能か。

(事務局)

- ・大丈夫だと思うが、細かい部分の検討がされていないので、何とも言えない。

(秦野副委員長)

- ・仕上げに関しては、予算内で考えていく。相模原市の事例では、写真を取り入れたいと思っている。

(石川委員長)

- ・今回の話をまとめると、①「発表された事例の概要」の中に、③④⑤が入る。②に「社会教育委員の関わり」。③が行政との関わり。④が⑥⑦⑧が入り、最初に相模原市に参考になりそうな点を入れる。
- ・今回のまとめは4項目となる。

1 発表された事例の概要

- ・事業に取り組んだ目的・きっかけ
- ・事業主体の設立の経緯と組織・しくみづくり 継続の工夫
- ・代表者やメンバーが初期の人たちと替わったあとの変化 など

2 事例に対する社会教育委員の関わりや役割

3 行政との関わり

4 相模原市の社会教育活動に活かすには

- ・参考になる点
- ・課題があっても工夫すれば生かせそうな点
- ・「もっと〇〇〇公民館」との共通性 など

以上で、社会教育委員会議第2回小委員会を終了します。

石川委員長の挨拶で、会議を終了した。

以 上

令和7年度 第2回社会教育委員会議小委員会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	若林 由美	一般社団法人 こども家族早期発達支援学会事務局長		出席
2	石川 利江	学識経験者（桜美林大学教授）	委員長	出席
3	秦野 玲子	学識経験者（RE Learning代表）	副委員長	出席
4	小林 政美	学識経験者（特定非営利活動法人男女共同参画 さがみはら 副代表理事）		出席
5	高橋 修一	公募		出席